

70 周年記念委員会

委員長 早川 諒
副委員長 高茂 亮太

1) 基本方針

四日市青年会議所が 70 周年を迎えられるのは、地域の発展を願う多くの仲間が団結して社会課題に向き合い、地域に必要とされてきたからです。しかし、諸先輩方が積み上げた歴史を受け継ぐ会員が減少している今、運動の本質や地域とのつながりが失われてしまえば我々の運動は未来へつながりません。70周年の節目に、「中今」を生きる我々が歴史を紐解き、地域に必要とされる団体としてまちの新たな可能性と未来を描く必要があります。

まずは、四日市青年会議所が続いてきた理由をより明確にするために、諸先輩方が社会課題をどのように捉え運動を展開してきたのか、紡がれてきた想いや地域と共に歩んだ歴史を紐解き青年会議所運動の本質に触れる機会を提供します。そして、「中今」を生きる我々が時代の変化に対応し続ける団体であるために、現代の社会課題を自分事と捉え地域の発展に貢献する使命があると認識していただきます。さらに、社会課題の解決に向け多様性溢れる「個」の集団である我々が一丸となることで、より力強い運動になることを感じていただきます。また、これまで四日市青年会議所にご協力、ご尽力いただいた方々へ感謝を伝え、記念すべき70周年を共に祝うため創立記念式典、祝賀会を開催します。そして、これからも共に歩み続けていただくために、この先の運動指針を発表し四日市青年会議所の必要性を認識していただきます。さらに、まちに住まう人々に青年会議所運動の可能性を認知していただくために70周年記念例会を開催し、まちの文化や産業に触れるとともに、人とひとのつながりを創出し、さらにこのまちが好きになるきっかけを創出します。

これまでの運動の本質を理解し、時代に合った運動を展開しようとする行動が「個」を成長させ、仲間を呼び込み新たな可能性を生みます。そして、多様性溢れる「個」が集まり手を取り合い力強く成長していき、明るい豊かな社会の実現へとつながっていくのです。

2) 事業計画

- | | |
|--------------------|----------|
| 1. 3 月度例会 | 3 月 11 日 |
| 2. 5 月度例会(創立記念式典) | 5 月 15 日 |
| 3. 5 月度事業(創立記念祝賀会) | 5 月 15 日 |
| 4. 8 月度例会 | 8 月 24 日 |
| 5. 出向者への支援 | 通年 |
| 6. 同好会への支援 | 通年 |

3) 事業予算

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 委員会事業費 | 30,000 円 |
| 2. 70 周年準備金 | 1,285,000 円 |

34

35 4) 委員会開催予定日

毎月第2火曜日

36

37 第二回正副理事長予定者会議 2024年10月10日(木)

38 意見1:1行目から4行目に記載ある内容がほぼ理事長所信と同じになっているので、委員
39 会として考えた背景を記載してください。

40 対応1:委員会としての考えを込めたうえで改めて見直し修正しました。

41 意見2:70周年記念をなぜしなければならないのか。といったことを委員会として改めて
42 考えたうえで作成してください。

43 対応2:委員会として作成した調査用アンケートの結果を踏まえ、基本方針を見直しまし
44 た。

45 意見3:3行目にある、続けられたのか。は日本語として正しくないので修正してくださ
46 い。

47 対応3:文言を変更しました。

48 意見4:中今という表現を使用するときは理事長所信と合わせた記載方法になるようにし
49 てください。

50 対応4:理事長所信と同じ「中今」に修正しました。

51 意見5:11行目にある、一丸となると。は日本語として正しくないので修正してくださ
52 い。

53 対応5:一丸となることで、に修正しました。

54 意見6:14行目にある、運動を理解し賛同してもらう、といった文章では賀詞交歓会と相
55 違がないので、記念式典、祝賀会をなぜ開催するのか、改めて考えてください。

56 対応6:さらに分かりやすく長期的なビジョンを共有するニュアンスが伝わるように表現
57 を変更しました。

58 意見7:17行目にある、このまちを。とあるが、まちを好きになってもらうよりも、委員
59 会としては四日市青年会議所を地域の方々に好きになってもらったほうが良いのではない
60 でしょうか。

61 対応7:明るい豊かな社会を実現するにあたり、地域に住まう人々がまちを好きになって
62 もらうことのほうが適切だと考えます。委員会として考えた結果、そのままの表現にさせ
63 ていただきます。

64 意見8:18行目にある、運動を起こす。と記載する場合の起こすは漢字として正しくない
65 ので、修正してください。

66 対応8:起こすを展開に修正しました。

67 意見9:・は使用できないので、修正してください。

68 対応9:・を、に修正しました。

69 意見10:年間事業概要一覧表の創立記念式典は例会扱いとなるので、例会であることを記
70 載してください。

71 対応10:5月度例会を追記しました。

72 意見11:議案として創立記念式典と祝賀会は別となるので、年間事業概要一覧表では分け
73 て記載をしてください。

74 対応11:年間事業概要一覧表で、記念式典、祝賀会を分けて記載しました。

75 意見12:年間事業概要一覧表にある委員会事業予算と70周年準備金をどこでどのように
76 支出していくのか、詳細を決めておいてください。

対応 12：3 月度例会を委員会事業予算。事前案内、シンボルマーク、5 月度例会、5 月度事業、8 月度例会を 70 周年準備金として支出します。

第二回理事予定者会議 2024 年 10 月 23 日（水）

意見 1：本質という表現がやや抽象的に感じますが、具体的にどのような要素を指しているのか、もう少し具体的に説明する必要はないでしょうか。

対応 2：価値観は個人の考え方や信念を指しますが、過去の運動を紐解き未来へつなげていく中で、四日市青年会議所としての共通理解という観点から「本質」という表現としています。

第三回正副理事長予定者会議 2024 年 11 月 13 日（水）

意見 1：3 行目にある、運動の本質は青年会議所の理念とはまた違いますが、どのような意味合いで記載しているのか。

対応 1：当時の先輩方が創り上げてきた歴史の中にある想いや考えのことを指していますので、本質という表現を使っています。

意見 2：3 行目にある、失われてしまえばという表記は予測の表現ですので、現状にある課題として記載してください。

対応 2：過去に地域とどのようなつながりをもって運動を行ってきたかを知る会員が減少していることがアンケートから読み取れて、この状態が続けば運動の本質や地域とのつながりが失われてしまうことにつながりますので予測ではなく現状の課題の行く末だと考えますのでこのままとします。

意見 3：16 行目に認識とあるが、認識するまででよろしかったでしょうか。

対応 3：まずは知ってもらうことが重要であると考えます。

意見 4：19 行目の巻き込みという表現はどのような意味合いがあるのか教えてください。

対応 4：志し高く運動を展開しようとする思いには、人を惹きつける力があると考えます。それらが生む好循環を「地域を巻き込み」と表現しましたが、表現が柔らかくなるように「仲間を呼び込み」に修正しました。

意見 5：意見対応にある第二回理事予定者会議の名称が違うので修正してください。

対応 5：正しい会議名称に修正しました。

意見 6：3 月度例会にかかる手法が 5 月度例会にどのようにつながっていくのか、改めて見直してください。

対応 6：70 周年を迎えるにあたり、これまでの歴史を知ることは重要です。歴史を知ること、式典、祝賀会をより自分事として捉え、また先輩や関係各位との関わり方もさらにポジティブなものになると信じております。